

平成29年度 市貝町立市貝小学校 学校評価書

1 教育目標

1	さとく	(きいてよくわかる子)
2	やさしく	(すなおで心豊かな子)
3	たくましく	(明るく元気な子)

2 学校経営の方針

<p>◎人権尊重の精神をすべての教育活動の基底に据え、知・徳・体の調和のとれた人間形成を目指し、「生きる力」を備えた児童の育成を推進していくために、「確かな学力の定着」「豊かな心の醸成」「健やかな体の育成」「地域と連携した学校づくり」「信頼される教職員」の5つの柱を基本として取組を進める。</p> <p>教育スローガン (学校生活の基本～「3あ運動」セカンドステージ)</p> <p style="text-align: center;">◎礼を正し ◎時を守り ◎場を清める (あいさつ) (あつまり) (あとしまつ) 笑顔あふれる 市貝小学校</p>
--

3 今年度の努力点

1	<p>知－〔確かな学力の定着〕 ◎思考力・判断力。表現力を高める授業づくり ◎学ぶ意欲と成就感の育成 〔特別支援教育の推進〕 ◎一人一人の教育的ニーズに応じた学習支援 〔読書活動の推進〕 ◎図書の整理と読書活動の工夫 徳－◎教えて育てる道徳教育の充実 ◎共感的な児童指導の実践 ○人権教育・福祉教育の充実 体－◎体力づくりの推進 ○健康教育・安全教育の充実 ○食育の充実</p>
2	<p>◎地域の教育力を生かした教育活動の推進 ◎ふるさと学習の推進 ○教育環境の整備 ○安全指導と管理の徹底</p>
3	<p>◎教職員の資質の向上</p>

4 評価

※評価指標の★は本年度の重点

※評価S：優れている A：良い B：おおむね満足 C：改善を要する (改善策を記入する)

項目	評価指標	主な具体的評価指標		自己評価		学校関係者評価	
				評価	達成状況 (○) と改善策 (△)	評価	成果 (○) と課題 (△)
教育課程	・教育課程の適切な実施の下に、学校は明るい雰囲気児童は生き生きと生活している。 ・教職員は責任をもって意欲的に仕事に取り組んでいる	①児童や学校の実態保護者や地域の意見・要望を踏まえ、学校としての教育目標(重点化された目標)を適切に設定している。 ②学校の教育課程の編成・実施の考え方について教職員の共通理解を図っている。 ③教育課程の実施に必要な各教科ごとの年間指導計画、評価計画や週案等を適切に作成している。 ④全教育活動を通しての道徳教育や学校行事などの特別活動を適切に運営している。 ★豊かな体験活動の場の設定などを行い、ふるさと学習の推進を図っている。	A	○学校として保護者と地域のかかわりを密接にし、意見を取り入れている。	A	○地域との連携体制があり、学校支援に協力が多い。子どもたちにとって貴重な体験活動となっている。 △豊かな体験活動については安全確保も大切であり、保護者・地域や行政の協力体制が必要。キャンプ場周辺の外灯などの整備については関係機関との連携において、評議員の立場から支援していきたい。	
			A	○教育課程について何度も話合う機会があり、組織で良いアイデアを出し合っている。 ○職員会議だけでなく必要に応じて話し合いの時間がもたれ、共通理解を図っている。			
			A	○週案の校長先生のコメントがとても温かく励まされている。			
			A	○各学年とも生活科や総合、社会科、理科、特活の授業を通して、ふるさと市貝について理解を深め、良さを実感できる学習が展開されている。地域や保護者の協力が素晴らしい。 △学校行事の精選は思い切ってやらないと改善されないの、一考を要する。			
	A	○各学年に応じた地域(ふるさと)学習を取り入れた活動をしていると思う。地域や祖父母の方の協力が厚く、有意義な活動ができた。 △4年キャンプは貴重な機会であるが、伊許山の宿泊は大変危険。防犯の問題等、検討すべき課題もある。					
児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	A	○担任や教科担任の先生がどんなに小さなことでも褒めてくれて、励ましてくれるので、子どもが何でも挑戦するようになった。 ○地域とのつながりやふれあいが素晴らしい。		

学習指導	・教職員は児童に確かな学力を身に付けさせるために努力している。	①説明、板書、発問の工夫等を取り入れ、ねらいを明確にした分かる授業の展開に努めている。	A	○2学期は特にねらいと振り返り一貫性を意識して授業展開ができた。 ○学力向上事業の1年目という関わりからも、特に一人一人が意識して「分かる授業」の展開に努めていると思う。 △デジタル教材だけでは、うまく伝わらないこともあったので、挿絵を印刷して使用するケースが多かった。研修を重ねて改善している。	A	○支援タイムなど個に応じた指導に対応しているのが良い。勉強が分かることで子どもは満足感を得ていると思う。 ○先生方が学習指導に関して自己評価が厳しいのは、向上心の表れと思う。「もっとできるようにになりたい」と、伸びたい気持ちに好感がもてる。
		②T・Tによる習熟度に応じた指導、補充的な学習や発展的な学習、個に応じた指導を適切に実施している。	A	○2学期以降、算数科を中心に習熟度に応じた少人数指導が展開され、意欲の面で効果が上がった。また、3学期には支援タイムが設定された。手厚い体制がよいと思う。 △T・Tと協力しながら実施できた。しかし2人では足りない時もある。T・T指導を計画的に行っていきたい。		
		③各教科等で身に付けた知識や技能との関連を図った総合的な学習の時間を展開している。	A	○5年の味噌づくりや6年のオトワレストランとの交流等、地域人材を生かした学習は、とても意義が大きいと感じる。(食育、キャリア教育どちらの観点でも) △体験的な活動や探究学習がされているが評価については研究していく必要がある。		
		★ペアやグループでの話し合い活動等を取り入れ、言語活動の充実に努めている。	B	○話し合い活動がしやすいメンバー構成にして意識して取り組んだ。活動に応じて、ペアやグループを活用した授業展開を考えた。 △意図的にペアやグループ学習での話し合いが展開されてきているが、何のために話し合うのか吟味する必要があった。目的や必要性について、工夫していくとよい。		
		★魅力ある学習課題の設定や体験的問題解決的な学習を展開している。	B	○研究授業等では、魅力ある学習課題が設定され、問題解決的な学習も実施され児童の意欲的に学ぶ姿が見られた。 △職員全体に意識されつつあり良い、児童が食いつく学習課題を研究したい。		
児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	A	○授業が楽しいと言っているのが有難い。子どもたちが仲良くいろいろなことに真面目に取り組む。 ○低学年にはT2の先生が付いていて学習面、生活面でもしっかり指導してくれる。	
心の教育・道徳教育	・教職員は児童が豊かな心を育み、道徳実践力が身に付くように、心の教育及び道徳教育の充実に努めている。	①教育活動全体において体験活動を充実させ、温かい人間関係づくりをおして思いやりの心が育まれるように努めている。	A	○教師対児童、職員間についても温かな関係で結ばれていてよいと思うので、よりはぐぐんでいきたい。 ○縦割り班での様々な活動は温かい人間関係作りに役立っている。	A	○縦割り班での活動がとても良い。子どもたちの間思いやりの心が出てきていると思う。
		②道徳の時間の指導や日々の実践をおして、児童が善悪についてしっかり判断してルールやマナーを守り、道徳実践力が身に付くように努めている。	A	○「ならぬものはならぬ」という毅然とした指導が職員の歩調を合わせてできていると思う。 △「～してはいけない。」や「ダメ」などの声かけが多かったように感じる。どうしていけないのかを考えさせ内面を育てることが必要。 △「3あ運動」に関連する内容については、実践力もついてきていると感じる。善悪の判断については、個人差、学年差が大きい。		
児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	A	○全学年の児童が仲良く話ができている。上級生が下級生をかわいがってくれる。 ○子どもたちが素直で元気。しっかり挨拶できている。	
キャリア教育	・教職員は児童が将来の生活によりよく適応し進歩する能力を伸ばせるように努めている	①日記指導や日々の学級指導において、児童が自分の日常を振り返ったり、自分のよいところに気付いたり、伸ばしたい自分の姿や目標などを意識したりする機会を設けている。	A	○振り返りということに力を入れていたので、どんな時でも自分と向き合う場面が多くあったと思う。 △将来の夢や、自分の良いところについては、学年の発達に応じて、計画的に指導を進めていきたいと思う。	B	○夢をもったり将来のことを考える機会を小さいころから段階に応じて進めていけるとよい。
		②学級活動等の指導計画に、将来のことを考える学習を位置付け、自分の将来の夢や希望を指して努力するよう指導に努めている。	B	○5年生の「夢の教室」や6年生の音羽シェフとの交流はとても良い機会である。 △低学年も意識して指導していきたい。		

児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	B			
児童指導 ・教職員は児童が希望や目標をもって生活し好ましい人間関係を醸成し、基本的なモラルや生活習慣を身に付けられるよう指導の充実に努めている。	①全職員の共通理解の下に指導体制が整備されている。 ②規範意識や基本的な生活習慣を身に付けさせる指導を適切に行っている。 ③職員の共通理解を図り、児童の問題行動に対する未然防止と指導に当たっている ④教育相談を定期的に行い、児童理解に努めている。 ★「3あ運動(礼を正し、時を守り、場を清める)」を推進している。 ★学級の雰囲気が温かく、児童が安心して学習や生活に取り組める人間関係づくりに努めている。	A			○先生方は児童をよく観察し、一人一人の個性を大切に育ててくれてよく子どもたちを見てくれる学校だと思う。		
		A			○指導の方向性や歩調を乱す雰囲気がなく、ベクトルが同方向で全員で指導できているところがよい。 △児童自身の姿や目標などを意識させる機会が少なかったので考えていきたい。	A	○いじめ等の問題がないのはすばらしい。職員間も仲の良さや雰囲気の良さがうかがえる。共通理解と教育相談やケース会議、報告等のすばやさがあるためと思われる。 △基本的な生活習慣やについては、「ノーメディアデー」の実施など、様々な手段を通して通して、一層の連携と啓発を図ってほしい。
		A			○「3あ運動」の呼びかけにより意識の向上を図れている。 △チャイム着席が徹底しつつある。継続指導したい。		
		A			○ケース会議や情報交換が速くて共通理解がしやすい。協力体制がすぐつくれる。報連相の流れが、とてもスムーズだと思う。 ○日頃から職員間で児童の様子や支援方法について情報交換を密にして指導にあたっている。		
		A			○保護者のいじめアンケートを実施することで、見えない部分がさらに見えてきたり情報が得られたりして良かった。 ○教育相談のおかげで新たな一面を知ることができた。		
		A			○学校全体として意識が高まり、挨拶、集まりに成果が見られてきたのを感じる。 ○後始末については、無言清掃への意識がとても高まってきたと感じる。 △集まりはA、課題は後始末。Q-Uの結果などから、より良い学級の雰囲気づくりに努めなければならない。		
		A			○教師間が和やかで笑顔が多く、授業や学級の雰囲気、接し方に良い影響である。 △日々注意深く観察したい。落ち着きのない児童への指導が多かったので温かい雰囲気づくりが難しかった。		
児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	A	○いじめなどがなく、何かあったらすぐ連絡してくれる。みんな和気あいあいとしている ○子ども同士のトラブルなどが先生、児童、保護者できちんと解決できていると思う。いつまでも引きずらないと思う。		

人権教育 ・教職員は一人一人を大切に、児童が互いのよさを認め合い人権を尊重し合う望ましい人間関係を育成している。	①教育計画への適切な位置づけを行い、人権意識の高揚を図っている。 ②各教科等の特質に応じて「育てたい能力・態度」の育成に努めている。 ③教職員自らの人権感覚を磨く校内研修を継続的に行っている	A			○人権週間の各取組がとても良かった。 ○人権週間の取組で、人権意識が高められた。 △人権意識の高揚まではいかなかった。	A	○人権意識の高揚については、日頃の児童、教師の言葉遣い、人権集会の様々な試みなど、継続指導をしてほしい
		B			△各教科で大切にしている所を意識するようになっていく。授業中など、自分自身の人権感覚をさらにみがかなければと反省している。		
		A			○夏休みに実施した人権研修がとてもいい機会だった。 △教師自身の人権感覚は日常的にいつも振り返らないといけないものであると思う。		
児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	A	○笑顔が多い学校であると思う ○親と先生方とのコミュニケーションがよくとれている。みんな仲がよい。親同士が仲がよいと児童間のいじめが起きにくいと考える。 ○いじめの問題についてしっかり向き合っている姿勢に感心する。小さなことから始まるいじめは親でも気付いてあげるのが難しい。今後も一人一人をよく見てほしい。		

特別支援教育	・教職員は一人一人のニーズを把握し適切な教育的支援を行っている。	①全職員の共通理解の下に校内支援体制を適切に整備している	A	○朝の打合せや職員会議等で配慮児童の情報共有を随時行っているのが良い。	A	○教育相談週間や児童指導部会等で特別支援が必要な子の共通理解がなされ全職員での指導が良い。
		②個別の指導計画を適切に作成し、共通理解と活用に使っている。	A	○毎学期の共通理解がよくできている。個別の指導計画をもとに日々の支援に活用することができた。		
		③医療、福祉など関係機関等との連携を適切に図っている。	A	○SC、SSWとの連携を図ることができた。よく連携が図られているが可能ならカウンセラーにもう少し来校してもらいたい。(月2回くらい) △カウンセラーとの面談の回数やWISC検査の実施が思うようにできなかったこともあり、医療へつなげることができなかった。保護者とつなげていく難しさがある。		
		★一人一人の教育的ニーズに応じた学習支援を行っている。	A	○よく行えた。支援タイムの効果に期待したい。 △習熟度別授業をもっと取り入れていけば良かった。		
児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	A	○子どもが学校に行けなくて親が不安に思うことが多々あって相談すると担任や他の先生達もみんなが心配してくれて有り難い。 ○集団行動に大切な協力や調和などを学べているので有り難い。 ○上の学年が下学年をしっかりと面倒みていて、思いやりがある学校だと思う	
保健・健康教育	・学校は、児童及び教職員の健康の保持増進に努めている。	①児童を対象とする保健(薬物乱用防止、心のケア等を含む)に関する体制を整備している。	A	○保健に関する講話や学習のバランスがいい薬物乱用防止教室、親子で聞く命の話等、外部講師による効果的な健康教育ができた △更に家庭への参加、協力喚起が必要	A	○親子で聞く命の話、薬物乱用防止講話など外部講師を招いて健康教育はとてもよい。 △食育は家庭の協力が大切。更に啓発を行ってほしい。
		②日常の健康観察や疾病予防、児童の自己健康管理能力向上のための取組を適切に実施している。	A	○日々の健康観察では、表情・声を見るようにし、小さな事でも把握するようになった。 ○養護教諭との連携、目配りと声かけにとでも助けられている。疾病予防のために校内全体で呼びかけをしていた。		
		③健康診断や環境衛生検査を適切に実施し、事後処置の徹底を図っている。	A	○複数の目で確認し、計画的に成されている。事後処理がしっかりされていていいと思う。 △結果等の情報を共有し、日常の指導に生かすように努力している。家庭への協力喚起が必要。		
		④食育に関する指導を各学年の年間指導計画に位置付け、適切に実施している。	A	○栄養教諭による食の指導はとてもわかりやすくてありがたい。連携して学習計画が実施できた。 △年間指導計画で位置付けていても、機会を逃して実施ができていない学年がある。更に家庭への協力喚起も必要		
		★教科体育及び教育活動全体の中で、効果的な体力づくりを実践している。	A	○運動量のある体育学習になるように心がけている。持久走前や運動会前などの体力づくりが良かった。 △業間の体力づくりの実践が昨年と比べて十分ではなかった。		
児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	A	○校庭が広く、児童が元気に伸び伸びと活動している。 ○給食がおいしい。メニューも抱負。今日も完食したよ、と教えてくれる	
安全管理・安全教育	・学校は、安全・安心な環境の確保に努めている。	①学校事故等の緊急時に適切な対応ができるような危機管理マニュアルを作成・活用している。	A	○危機管理マニュアルが一人一人にあって活用しやすい。 △実効的になるようマニュアルを浸透させる工夫をしていきたい。	A	○児童の安全確保のために、これからも指導と様々な訓練の実施をお願いしたい。
		②安全点検(通学路を含む)を組織的・計画的に実施し、危険を防止するための措置を講じている。	A	○月毎の安全点検は良く実施できている。危険を防止するための措置も適切に行われている。子ども目線からの安全点検を委員会に学期ごとに実施することができ効果があった。 △登下校時のスクールガードをしっかり作ってほしい。		

		③交通ルールの遵守について学校行事や学級活動等を通して指導し、交通安全の意識の向上に努めている。	A	○交通ルールの指導や下校の注意点等日常的に指導できた。 △自転車の乗り方については校外での様子から、より指導の徹底が必要。学童児童の下校についても今後も継続指導が必要。		
		④防災・防犯に関する訓練等を適切に実施し、教職員及び児童の安全対応能力の向上に努めている。	A	○交通安全教室は1学期に集中することなく、2学期にも位置付けられ良かった。また、竜巻に関する避難訓練については、同時にJアラート対応もできて良かった。 △不審者対応の防犯教室については、実施方法について再検討が必要		
	児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	A	○通学路で横断歩道など渡り終えるときちんとおじぎをしてくれて、毎日の学校の教育が有り難く思った。
組織運営	・教職員は一致協力し、組織的、機動的な運営に努めている。	①教育目標の具現化に向けて、職員が共通理解の下、協力して取り組むよう努めている。	A	○教育目標や3あ運動など一丸となって取り組んでいると思う。とても協力体制が整っていると感ずる。	A	○校長先生を中心に教育目標具現化のための取組が素晴らしい
		②校務分掌や各主任の役割が適切に機能している。	A	○各主任の自覚の下で、指示系統がよくできていて、サポートする周囲も協力的である。 ○校務分掌の中でも、役割分担をしながら取り組んだ。		
		③各種文書や個人情報等の学校が保有する情報を適切に管理している。	A	△管理の仕方は十分とまではいえない。留意していきたい。		
児童・保護者アンケート	児童	***	保護者	***	*****	
研修 △資質の向上 ▽	・教職員は定期的に研修会を開き、よりよい授業を目指して学び合っている。	①校内の研究組織や体制を整備している。	A	○主任を中心に意識は高まりつつあると思う。十分に整備されている。	A	○先生方の向上姿勢が素晴らしいと思う。授業研究会が真剣に何度も行われ、学力向上に取り組んでいる。
		②学校課題解明のための授業研究を計画的に行い、授業改善に取り組んでいる。	A	○学習指導主任を中心に、学校課題解明及び教員の授業力向上に全職員が一致して取り組むことができた。互いの授業を見合っって切磋琢磨しようとする意識が高い。 △授業研究で学んだことを、自分の授業にも取り入れるようにしていきたい。		
		③研修会に積極的に参加し、資質の向上に努めている。	A	○全職員が希望研修に参加することができた。役割分担に応じてワンパターンではない研修ができていくと思う。 △「自分から積極的に」を次回は努めたい。		
		★校内研修が充実し、教職員の資質の向上に役立っている。	A	○学力向上応援団派遣事業による校内研修が充実し、先生方の資質の向上が図れた。 △相互授業参観にいけないときもあった。		
児童・保護者アンケート	児童	***	保護者	***	*****	
学校評価	・学校は、学校評価を計画的に行い、改善を図るとともに、その結果を公表している。	①学校運営への参画意識が高まるように職員で話し合い、評価指標を明確にして評価している。	A	○1学期の学校評価は、重点課題にしぼり、グループで話し合いながら改善点を出し合うことができ、2学期以降の取組の重点化の共通理解が図れた。必ず共通理解をするという流れが徹底されている。 △指標の明確化が必要	A	○児童・保護者へのアンケートを実施し、結果を学校運営に生かすよう努めている。
		②外部アンケート等を実施し、自己評価を行う上での参考としてい	A	○常にPDSカードなどで担当によって見直されているところが素晴らしい。		

					る。 ③学校関係者による主体的能動的な評価が年1回以上定期的に実施されている。	A	○アンケートの結果を受けて、話し合う場面が多かった。 ○評価をいただき、改善するためにどうするかまで実施していた。	
	児童・保護者アンケート	児童 ***	保護者 ***		*****			
情報提供	・学校は、開かれた学校を目指し、進んで情報を公開している。	①学校に関する様々な情報が、保護者や地域住民に、十分に分かりやすい内容で、かつ適切な分量を提供している。	A	○今年、学校だよりが地域内に回覧された試みが成された。	A	○学校だよりやホームページでの情報公開はとてもよい。		
		②学校だよりや学年だよりの発行、ホームページの公開、メール配信等を行い、情報の伝達・公開を適切に行っている。	A	○特に学校だよりは、密度の濃いもので、校長先生の思いがこもっていると感じる。各行事がホームページに定期的に配信されている。 ○様々な方法で、情報公開をしていたと思う。				
	児童・保護者アンケート	児童 A	保護者 A		○地域に開かれた教育をしてくれている。引き続きお願いしたい。			
保護者・地域住民等との連携	・学校は様々な教育活動において、保護者や地域住民の意見や協力を得ようとしている。	①地域コーディネーターと情報交換会を開き地域連携教員と連携を図りながら地域と学校の協働体制を確立している。	A	○ミシンボランティアやオピニオンリーダー等、連携がよく取れていた。 △地域コーディネーターとの打合せを更に密にしたい。	A	○地域との連携がよくなされ教育効果を上げていると思われる。		
		②保護者や地域住民の授業参観や学校行事への参加の機会を積極的に設け、アンケート等を実施するなどして、具体的な要望や意見を把握し適切に対応している。	A	○保護者の要望について丁寧に対応していると思う。行事の後には保護者向けアンケートがしっかり行われていてよかった。 △良くも悪くも貴重なご意見をいただいている。				
		③地域の人々と交流する機会を設けたり、授業や学校行事等に地域の人材など外部人材を活用したりしている。	A	○生活科や総合、社会科の授業を中心に、今年度も地域の人と交流することができた。学習ボランティアの参加も多く見られた。 △生産者との交流給食も実施した。内容や時期など継続して実施していけるよう検討したい。				
	児童・保護者アンケート	児童 A	保護者 A		○地域との交流が子どもにとってとても良い経験と思う。ボランティアなどで地域が見守ってくれている。地域との温かなふれあいが多く子どもたちの視野が広がっている。 ○祖父母の交流などとても楽しみにしている。親同士も楽しく交流できている。			
教育環境整備	・設置者と連携して児童が効果的な学校生活を送れるよう、環境整備に努めている	①施設・設備を有効に活用している。	A	・グループ別活動等で空き教室を活用している。 △校庭西側(駐車場の)整備が急務だと思う。	A	○奉仕作業等で保護者だけでなくボランティアの協力が得られて環境整備がよくなされている。		
		②教材・教具・図書の整備を適切に行っている。	A	○今年もたくさんの新刊図書が整備された。多忙な中でもよく努力していると思う。町の図書館とつながっていることがよい。 △デジタル教材をうまく使いこなせていない。				
		③学習・生活環境の充実のための取組を行っている。	A	○予算の限られた中で優先順位を考えた取組を行っている。 △マルチメディア教室で外国語活動の環境整備があまりできていなかった。				
	児童・保護者アンケート	児童 A	保護者 B		△3階はエアコンがないので、暑いときはエアコンのある教室で授業をしてほしい △雨の日の校庭のぬかるみをどうにかしてほしい			

5 学校運営についての意見

職員 評価	<ul style="list-style-type: none"> ・大切なことを決めていく時には、校長先生の方針の下で、全員で真剣に考えてうまくいくためのアイデアを出し合う雰囲気が良いと思う。どんな問題が起きてもこの体制で乗り切れる感じがする。 ・教育課程について全職員で話し合うというところがよい機会だった。組織の一員として、参加できるよう勉強したい。 ・業間の活動の見直しと同時に、活動のネーミングも一考の余地あり、にこにこ班のにこにこタイムは良いがわくわくタイムなど紛らわしいのではないか。補充タイムも入ってくることも考えると、わかりやすいネーミングの見直しはどうか。 ・登下校時のスクールガードをもっと地域から募り組織化させたい(都市部、たとえば真岡市や清原地区などはしっかりと機能している。)
児童・保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・担任や教科担任の先生が小さなことも励ましてくれ、子どもが学校が楽しいといっている。一人一人を大切に、一層良い学校にしてほしい。 ・学校・保護者・地域がよく連携がなされ、児童が伸び伸びと育っている ・ヘルメット通学の見直しをしてほしい。 ・校庭のぬかるみの状態を直してほしい。 ・3階のエアコン設置
学校関係者	<ul style="list-style-type: none"> ・校長のリーダーシップの下、職員が共通理解を行いながら、しっかりと同じ方向を向いて教育活動を行っている。学力向上に向けても、向上心を持ち、授業に研修に前向きに取り組んでいる。表現力の育成にも継続して努めてほしい。 ・「3あ運動」が継続指導され効果を上げている。地域の中においても児童はしっかりとあいさつができ、農作業していても遠くからあいさつをしてくれてかわいい。声かけをすると笑顔で答えてくれる。 ・市貝小の児童指導上の問題がないのはすばらしい。保護者が地域の中でも学校の雰囲気がよいと話している。共通理解の場、教育相談の実施、ケース会議の開催等での問題行動未然防止のための対策がよくなされているからと思う。 ・学校行事等での安全確保については、行政側からのバックアップも必要と思う。(伊許山キャンプ場の外灯設置など) ・充実した教育活動の裏側には先生方の多忙感がある。働き方改革も叫ばれている今、校長の裁量の下で、先生方の勤務の改善にも目を向けてほしい。

6 次年度へ向けて

<ul style="list-style-type: none"> ・校長の方針の下、各主任を中心に報・連・相を徹底し、どんなことも組織で動ける体制を更に強化していきたい。 ・学校評価でいただいた保護者・地域からの良い意見に対しては3学期の保護者会においても心から感謝の意を表した。褒めていただいたことについては一層、力を注ぎ、職員一同自信をもって取り組んでいきたい。また、改善意見については、真摯に受け止め、適宜検討や見直しの話し合いをしていきたい。 ・平成32年度からの新学習指導要領の全面実施に向けて、2年間の移行期間に、外国語を始め、各教科等についての理解と研修を深め、実施の準備を進めていきたい。また、次年度からの道徳科の実施については「特別の教科道徳」の授業研究と評価の工夫について一層研修を行い、理解を深めたい。 ・行事の精選や日課の見直し等についても検討している。児童の学力向上と学びに向かう力や人間性の育成とともに、教職員の働き方改革も念頭に置き、効果的な教育課程の編成ができるよう検討している。
--